

生産性向上支援訓練のご案内

生産性向上支援訓練とは、企業が生産性を向上させるために必要な知識などを習得する職業訓練です。全国のポリテクセンター等に設置した生産性向上人材育成支援センターが、専門的知見を有する民間機関等と連携して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応した訓練を実施します。

生産性向上支援訓練 3つのポイント

1 企業の生産性向上に効果的な知識や技法を習得！

- ・生産管理、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムを用意（全116コース（'20.12月現在））

2 企業のニーズに合わせたオーダーメイドのコース設定が可能！

- ・自社会議室等を訓練会場とすることが可能（企業に講師を派遣します）
 - ・実施日時や訓練時間も調整可能（訓練時間は4～30時間で設定）
- ※従業員1人からでも利用できるオープンコースも実施しています

3 受講しやすい料金設定！

- ・受講料は1人あたり2,200円～6,600円（税込）
- ・条件を満たす場合は国の助成金（人材開発支援助成金）を利用可能



全国実績
(累計)

受講者数 **83,485** 人
※'17～'20.10月未まで

利用した企業数 **25,640** 社
※'17～'20.10月未まで

受講者評価
(業務への役立ち度) **97.9** %
※'17～'20.9月未まで

訓練受講までの流れ

課題や方策の整理

- ・センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。

訓練コースの
コーディネート

- ・相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

- ・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。
- ・RPAを活用して業務を自動化したい。
- ・テレワークを導入して業務を効率化したい。

- 分野・コース
- 生産管理、流通・物流、バックオフィス など
- ・生産現場の問題解決
 - ・RPA活用
 - ・テレワークを活用した業務効率化 など

- ・従業員の仕事の効率化を促進したい。
- ・リスクを低減させる方法を学びたい。
- ・ベテラン従業員の技術を後輩に継承させたい。

- 分野・コース
- リスクマネジメント、組織力強化、生涯キャリア形成 など
- ・成果を上げる業務改善
 - ・リスクマネジメントによる損失防止対策
 - ・作業手順の作成によるノウハウの継承 など

- ・顧客満足度の向上を図りたい。
- ・消費者の動向を営業に活用したい。
- ・インターネットを活用して販売促進を図りたい。

- 分野・コース
- 営業・販売、マーケティング、プロモーション など
- ・マーケティング志向の営業活動の分析と改善
 - ・提案型営業手法
 - ・提案型営業実践 など

- ・データ集計の作業を効率化したい。
- ・マクロを使って定型業務を自動化したい。
- ・集客につながるHPを作成したい。

- 分野・コース
- ネットワーク、データ活用、情報発信 など
- ・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
 - ・集客につなげるホームページ作成 など

訓練受講

- ・所定の期日までに受講料の支払い等の手続を行い、訓練を受講してください。

※予算に限りがありますので、ご希望に添えない場合があります。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

～生産性向上人材育成支援センター(生産性センター)は、事業主の皆様の生産性向上に向けた人材育成を支援しています～



(生産性センター紹介ページへ)

生産性訓練 利用者の声①

マクセルフロンティア株式会社 (旧 マクセルシステムテック株式会社)

「スキルアップだけでなく、意識改革にもつながり、積極的に取り組む姿勢が見られるようになりました」

利用コース情報

- ・訓練コース名：新サービス・商品開発の基本プロセス
- ・訓練期間：令和元年8～9月（2日・12時間）
- ・受講者数：16名
- ・ポイント：ヒット商品の考え方、アイデアの出し方及び自社資産の活用方法の理解

プロフィール

- ・所在地：山形県米沢市
 - ・従業員数：217名
- 2017年に設立し、産業機器向けシステム製品の受託開発・製造及び画像認識システム開発・製造・販売を主な業務内容としている。
NB(コヒビジ社)推進開発課を新設し取組課題の推進、従業員の意識改革推進を実施している。

※記載の組織情報は令和元年度時点のものです。

<訓練を利用した事業主の方の声：取締役 鈴木様>

Q 生産性向上支援訓練を利用した感想をお聞かせください。

A 訓練実施機関の講師も交えた事前打合せの結果、自社の課題及び今後の取組方針を踏まえ、カリキュラムを最も効果的な内容にカスタマイズして研修を実施できました。社外講師による研修はスキルアップだけでなく、意識改革にもつながると分かり、今後もこうした研修を継続して実施したいと考えています。

NB推進開発課を新設し取組課題の推進、従業員の意識改革推進を実施しており、これまでネガティブな発言が多かった社員も積極的に取り組む姿勢を見せるなど、次第に効果が表れていると実感しています。

<訓練を受講した従業員の方の声：NB推進開発課 齋藤様>

Q 生産性向上支援訓練を利用した感想をお聞かせください。

A 私が所属しているNB推進開発課、画像ソフト設計課では新規自社製品の企画立案等を担当していますが、今までは日々の業務に追われて新しいことにチャレンジしたり改善・改革に前向きに取り組む雰囲気にはなっていませんでした。この研修では自社製品を使った実習があり、考え方や分析方法をより身近な感覚で習得できました。また、関連して経営戦略やビジネスモデルの作成、各種分析の重要性を学ぶことができたことで、受講者全員がポジティブな考え方に変わってきました。現在は製品仕様策定や技術提案に、習得した分析スキル・考え方を活用しています。

※記載の組織情報は令和元年度時点のものです。



NB推進開発課 齋藤様

生産性訓練 利用者の声②

三和レジン工業株式会社

「営業担当者と営業事務員間のコミュニケーションをとる環境が整い、スムーズな業務運営ができるようになりました」

利用コース情報

- ・訓練コース名：提案型営業手法
- ・訓練期間：令和元年11月（1日・6時間）
- ・受講者数：8名
- ・ポイント：自社の強み・弱みの検証
具体的な提案をするためのストーリーの考案

プロフィール

- ・所在地：大阪府枚方市
 - ・従業員数：29名
- 1971年に創業し、発泡プラスチックの加工技術による、製品の包装材料・緩衝材の加工および販売を行っている。
物流・輸送時のあらゆる製品保護・梱包にベストなご提案を行い、「日本一速く対応できる包装資材屋」をモットーとしている。

<訓練を利用した事業主の方の声：代表取締役 昆田様>

Q 生産性向上支援訓練を利用した感想をお聞かせください。

A 訓練前は、営業担当者と営業事務員の仕事に分断されがちでしたが、訓練後は営業事務も営業の一部であるという意識が芽生え、営業担当者のフォローをする環境が出来た様に見えます。

また、お互いがコミュニケーションをとる環境が依然より整ったことにより、スムーズな業務運営ができる様になっています。

これからも、生産性向上支援訓練を活用して「従業員の仕事もプライベートも充実させられる会社づくり」を続けていきたいと思っています。

<訓練を受講した従業員の方の声：業務課長 舞弓様>

Q 生産性向上支援訓練を利用した感想をお聞かせください。

A 訓練を受講し、明確に変わったと思う点は、社員の仕事に取り組む姿勢が変わり、自分で考えて動ける人間になったことだと思います。

「営業」の流れを教えていただくことで、顧客との細かいやりとりを行う営業事務員も営業の一部を担っていることが理解できました。また、仕事の流れが見えたことで、正確に事務作業を達成するという意識に加えて、もっと商品を販売したいと思っている営業担当者のフォローができるようになりました。

演習を実施した効果として、まとまりがより強くなり、業務にも流れが生まれ、以前よりスムーズに仕事が完結できるようになった部分も成果だと思います。



業務課長 舞弓様